群馬県議会　リベラル群馬

# 後藤かつみ

街頭演説 2400日

# 2016年 第3回定例会報告

発　行　リベラル群馬　後藤かつみ事務所
住　所　高崎市八幡町 800－24
TEL&FAX　027－343－1393
e-mai　ccrgoto@af.wakwak.com
http://www.ccrgoto.com/
http://www.eaglesgoto.com/(スマートフォン用)

CONTENTS

■２０年前に戻ったかの様相　～大型補正予算の時代錯誤～
■「小さく産んで大きく育てる」の典型　～八ッ場ダムの事業費再々増額～
■次年度予算への提言を知事に提出
■山村振興には思い切った組織の見直しを　～先進県に学ぶ～

## ２０年前に戻ったかの様相 ～大型補正予算の時代錯誤～

### 国補正予算、大手紙が一斉に批判

10月に、国の大型補正予算を受けて、群馬県でも過去最大級規模の補正予算が組まれました。

しかし、国の補正予算に対しては、大手紙が一斉に批判報道を展開。「国の財政がゆるんだままでは困る（毎日）」、「経済対策「空ぶかし」にならないか（産経）」、など、共通するのは、**①公共事業頼みの経済対策の効果への疑問、②財政規律の緩みに対する懸念**、という点です。

こういった旧態依然とした経済対策への批判は、新党ブームに沸いた20年前頃に盛んに行われていたのを思い出します。つまり、あの頃の**古い政治体質がまた復活している**のではないかと危惧します。

### 「人への投資」への転換を提言

群馬県の補正予算の中身も、医療・介護関係の予算も僅かながら盛り込まれていますが、殆どが旧来型の公共事業となっています。

後藤は討論の中で、「人への投資」に繋がる事業のウエイトが低すぎることを指摘。優先順位の転換を提言しました。

**群馬県の９月補正予算の主要事業**

| | |
|---|---|
| 予算総額 | 113 億円 |
| 公共事業費（殆どが道路整備） | 99 億円 |
| 前橋日赤建設費補助 | 4 億円 |
| 地域包括ケア推進 | 2 億 4 千万円 |
| 看護師養成所の施設整備費補助 | 1 億 5 千万円 |
| 産業団地整備 | 2 億 6 千万円 |

## 「小さく産んで大きく育てる」の典型 ～八ッ場ダム事業費再々増額～

### 当初計画の2.5倍！

別表のとおり、八ツ場ダム事業は度重なる工期延長と増額変更によって、当初計画の実に2.5倍にまで事業費が膨れ上がっています。

多くの大型公共事業に共通するのは、**スタート時には批判を避けるために事業費を低く抑え**、後は「一度始まったら止まらない」という公共事業神話に守られながら、**なし崩し的に事業費を膨らませ続ける**ことです。

**八ツ場ダム事業費の増額・工期延長**

当初計画　2,110 億円(2000 年完成)

↓

2004 年増額　4,600 億円(2010 年に延長)

↓

今回の増額　5,320 億円(2020 年に延長)

**工期延長と増額変更を繰り返し、事業費を膨張させ続ける公共事業の典型**

### 国に「物言えない」地方の現実

八ツ場ダムは国の事業ですが、関係都県も応分の負担を求められ、今回の増額で、群馬県は３４億円の負担増となります。**大澤知事はこれまで「増額には断固反対」と、強い意思を示していたにもかかわらず、今回の増額をあっさり受け入れ**てしまいました。依然、「国に逆らえない」地方の現実があります。

しかし、これにはさすがに**自民党を含めた各会派が反発**。「これ以上は絶対に認めないという強い姿勢を国に示さなければ、また同じことを繰り返すのではないか？」といった指摘が相次ぎました。